

『小金井リハビリ連絡会』

総会資料

日時：2022年（R4年）4月22日（土） 19:00～20:00（18:50よりZOOM開始）

場所：Web上ZOOM使用

2022年度（令和4年度） 総会プログラム

第1部 総会 19:00～

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事
 - ① 議長選出
 - i 2021年度事業報告の審議 および 承認
 - ii 2021年度会計報告の審議 および 承認
 - iii 役員改選
 - iv 2022年度事業計画の検討
 - v 2022年度の予算案の検討
 - vi その他
 - ② 各部より活動報告
 - ③ 役員紹介
4. 閉会

1. 2021年度活動について

① 2021年度事業報告

【事務部】

今年度の活動

- ・小金井リハビリ連絡会のパンフレットを作成し、市役所へ配置した。
- ・ZOOMの有料バージョンの管理。
- ・PT協会・行政事業の情報共有
- ・各部の会計管理
- ・年会費を1,000円から500円にて運用

【研修部】

今年度の活動

- ・前年度まで行っていた研修会は新型コロナウイルスの影響により未実施
- ・ZOOMシステムを利用した、新型コロナウイルスに対しての各施設の対応の研修会を11月20日に実施した。

【事業部】

今年度の活動

- ・新型コロナウイルスの影響により昨年度と同様にZOOMシステムを利用した活動を実施。
- ・ミニ症例検討会を令和3年4月～令和4年2月まで月に1回の頻度にて開催した。

【渉外部】

今年度の活動

・今年度は、各圏域の包括職員と連携を取りながら新型コロナウイルスの感染対策を行い、小金井市における介護予防の普及啓発に寄与することを目的に、さくら体操の巡回を可能な限り行った。各圏域でのイベント、お元気サミットは開催出来ていない。

1. さくら体操巡回

今年度は、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、各包括圏域の包括職員と連携を行い、可能な限り感染対策を行った上で巡回を行った。

・地域包括支援センター管理会場

	巡回実施回数	延べ参加人数(リーダー含む)
きた	2回	19人
みなみ	14回	157人
ひがし	4回	64人
にし	2回	23人
市全体(4圏域合計)	22回	263人

・自主会場

	巡回実施回数	延べ参加人数(リーダー含む)
きた	5回	44人
みなみ	3回	16人
ひがし	21回	212人
にし	11回	143人
市全体(4圏域合計)		416人

2. 各圏域でのイベント、お元気サミット、体力測定

きた：介護予防相談会(市内のウォーキングを兼ねて)を6・11月に各1回

10月に高齢者マンションで実施した体力測定会へオンラインで参加し、結果の見方やミニ講義を実施。

ひがし：7月13日、11月16日に一般市民向けに介護予防講習会を実施。

お元気サミット：今年度は、新型コロナウイルスの影響により実施出来ていない。

2021年度会計報告 (2021年(令和3年)4月1日~2022年(令和4年)3月31日)

入金部(単位:円)		出金部(単位:円)			
繰越金	296,380	ホームページ更新料	11,580	ZOOM 有料使用代	16,582
年会費	128,000	PC 購入代	117,560	研修部講師代	7,500
		雑費	220	郵送代	2,042

入金合計：424,380円

出金合計：155,484円

繰越金 268,896円

上記の通り報告いたします。

2022年(令和4年)4月13日

事務部長 柳堀明久

②2022年度事業計画(案)

【事務部】計画・課題

- ・年会費500円にて運用
- ・会員への周知方法がホームページ閲覧によるものだったが、メール配信も追加する。
- ・個人メールを集める方法としてグーグルフォームを利用し、同意が得られた方のみ送信する。

【研修部】計画・課題

- ・令和4年度も新型コロナウイルスの影響により実際に集まるような研修会の実施は懇談であることが予想される。

- ・前期・後期の年2回程度 ZOOM システムを利用した研修会を実施していきたい。

【事業部】計画・課題

- ・令和4年度については ZOOM システムを利用し毎月1回ミニ症例検討会を開催していく。
開催日については、毎月第3金曜日に開催することとする。時間については20時から21時を予定しているが、会員の参加が得られやすい時間に適宜変更を行っていく。

【渉外部】計画・課題

来年度より

- ①さくら体操の管理会場においては、各施設の通所・訪問に携わるリハスタッフが行うこととなったため、さくら体操巡回は自主会場を中心に巡回する。また、包括より依頼があれば小金井市のサロンや認知症カフェなどの通いの場への巡回活動を行い、介護予防の講演などを行うなどをして、介護予防の普及・啓発を行う。さくら体操の普及・啓発に関しては、昨年度と同様に包括支援センターの職員と協力をしながらおこなっていく。
- ②さくら体操参加者への体力測定実施を検討する。
- ③以前に行っていた四者会議の在り方を検討する。

③2022年度予算（案）

収入の部	支出の部
1.繰越金 268,896 円	1. 事業 30,000 円
2.年会費 120,000 円 (会費 500 円×240 名) 予定	2. 研修 30,000 円
	3. 事務 30,000 円
	4. 講師料 60,000 円
	5. 予備費 238,896 円
計 388,896 円	
	計 388,896 円

④2022年度役員（候補）

会長：金子裕一
 監事：中川智隆
 副会長：鍛冶宏宣
 事業：金子裕一（部長）、小泉勇樹、小原祐太、吉田浩之
 研修：鍛冶宏宣、横山弘幸、吉田博之、鴨下、塚原新太郎、田崎修也
 事務：柳堀明久（部長）、吉田浩之
 渉外：東地区：細井匠（部長）
 西地区：柳堀明久、吉田浩之
 南地区：辻村拓真
 北地区：寺門拓海、高橋真優
 渉外事務：鍛冶宏宣

第2部 小金井リハビリ連絡会の紹介 19：30～

事務部：柳堀
 研修部：鍛冶
 渉外部：細井
 事業部：吉田浩